

# 元気なまちづくりネット

代表：松江トモ子

## 「夏休み親子和ごころ体験講座」 「この世に悪い子なんていない 食と花で 子どもは変わる—熱血先生の挑戦—」

実施日時：(1) 8月26日(日) 13:30~15:00

(2) 9月8日(土) 13:30~15:30

実施場所：静岡県男女共同参画センター

参加者：(1) 大人25人・子ども11人 (2) 130人

連携・協働団体：掛川お茶愛好会、静岡県読み聞かせネット、  
藤枝市健康生活ネットワーク

### 1. 事業目的

“男女共同参画”の本の読み聞かせ、親子の日本文化の体験講座と、食と花壇作りにより、心身ともに健康な人が増え、家族が変わり、学校や会社が変わった話の講演会を通し、男女が認め合い協力し合い思いやりを持って生活する家庭・まちづくりに貢献する。

### 2. 事業内容

#### (1) 夏休み親子和ごころ体験講座

実施日時：8月26日(日) 13:30~15:00

実施会場：静岡県男女共同参画センター 3階 生活関連実習室・茶室

対象者：親子15組

参加費：300円(お菓子・お抹茶代)

#### (2) 「この世に悪い子なんていない 食と花で子どもは変わる!—熱血先生の挑戦—」

講師：大塚 貢先生(元上田市教育長 教育・食育アドバイザー)

実施日時：9月8日(土) 13:30~15:30

実施会場：静岡県男女共同参画センター 大ホール

対象者：一般市民・行政職員・民生委員・市議会議員等

参加費：200円(資料代)

### 3. 事業の実績

(1) 参加者 大人25人(女性20、男性5) ※スタッフ込、子ども11人(女子8、男子3)

(2) 参加者 130人

### 4. 事業の効果

日常生活の中に文化芸術活動を取り入れ、美しいものを楽しむことにより、一人ひとりが心も体も健康になる姿が見られた。

大塚貢先生の講演会では、給食を改善したことで、成績アップ、非行なし、不登校が0になった話に、多くの方々が感動した。「より多くの人々に聞いてもらいたかった」「静岡の給食行政の方、教育関係者など、直接給食に関わっている方々に聞いて欲しかった」という声も多かったため、今後も多くの方々に伝える営みを継続したい。

## (1) 夏休み親子和ごころ体験講座

8月26日(日)13:30より、静岡県男女共同参画センター3階の生活関連実習室と茶室を使って、「夏休み親子和ごころ体験講座」を行った。

主催者挨拶の後、最初に「生け花体験」として、手作り花器と花を選んで1本の花をいけ、その花を選んだ理由を一人ひとり発表した。

次に、2グループに分かれ「本格茶室での茶道体験」と、「男女共同参画絵本の読み聞かせ」の体験をした。

親子、家族の参加が8組あり、普段は忙しくて、なかなかコミュニケーションがとれない実態があるが、この講座に参加することにより、ゆったりと楽しい時間を過ごすことができたとの喜びの声が聞かれた。

ちょうど夏休みだったため、家に帰って花の写真を撮って自由研究にまとめ、学校に提出した小学生がいた。

花をいけること、読み聞かせ、茶室でお茶を点てることは、文化芸術に触れることでリラックスし、落ち着き、心も体も健康になることを、多くの人が体験した。

特に抹茶は、自然農法産のものであり、身体は自然治癒力を高める効果があるものだった。

### <アンケートより>

#### 生け花体験

- ・花を見て心が優しくなった感じ。
- ・花をいけて心が安らいだ。
- ・楽しくすてきな手作り花器を用意して下さり楽しんで花を活けることができた。

#### 茶道体験

- ・お茶により心が洗われて良かった。
- ・お茶室に入って抹茶をいただき、落ち着いた。

#### 読み聞かせ

- ・年配の方の読み聞かせで心が落ち着いた。
- ・テレビやマンガより良いと思った。
- ・大きな声で聞きやすかった。
- ・子供たちが真剣に聞いていてびっくりした。
- ・家族でやってみたい。



会場の様子



お気に入りの花を選んで生け花体験



お茶室での茶道体験



絵本の読み聞かせ

前述のような感想から、日常生活の中に文化芸術活動を取り入れ、美しいものを楽しむことにより、一人ひとりが心も体も健康になる姿が見られた。

健康な生活の中に、家族が思いやりの心を持ち協力し合う「男女共同参画の理念」が生まれ、行動につながっていく。誰もが安心して暮らせる、元気で活力ある社会作りのため、家庭から地域から男女共同参画を推進していきたい。

読み聞かせの本は、人権問題につながるテーマのものだったため、自然体で学びの場ができた。

「お茶は特別の人の飲み方という感じがしたが、日常に取り入れるヒントをもらった」

「日常生活の中にお抹茶を点てる機会を作りたい」という感想があるように、講座での体験が、家庭での日常的な実践へとつながってほしいと願っている。

当会では、今後、家庭で実践し定着するための取り組みを計画していきたいと考えている。

## (2)「この世に悪い子なんていない 食と花で子どもは変わる！—熱血先生の挑戦—」

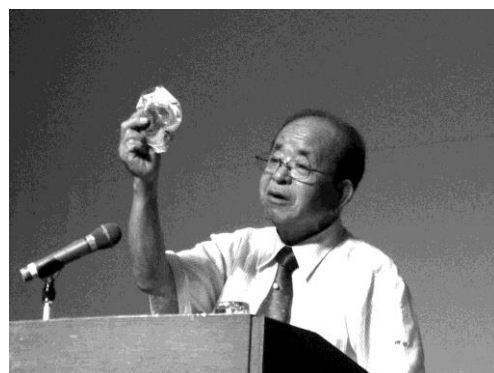
講師：大塚 貢先生（元上田市教育長 教育・食育アドバイザー）

9月8日(土)13:30より、静岡県男女共同参画センター6階大ホールにて「この世に悪い子なんていない 食と花で子どもは変わる！—熱血先生の挑戦—」と題し、元上田市教育長であり、教育・食育アドバイザーである大塚 貢先生の講演を行った。

講演会の準備期間中に、様々な反響があり、インターネットを見て、他県からの問い合わせがあった。

当日は、岡山県津山市から市議会議員2名が参加。あざれあナビなどの情報発信により、多くの人々に伝えることができたことは意義あることだと思う。静岡市近郊の県議や市議、行政関係者の参加もあった。

大塚先生は、生徒数1,200名の中学校へ校長として赴任。非行、不登校、朝礼で倒れる子ども達をみて、何とかしなければと考え、①パンと肉中心の給食から、ご飯と魚中心に変え、②地産地消の野菜や有機農法のお米を使うなどの改善で、給食を変えた。その結果、成績アップ、非行なし、不登校が0になった。その事例を、グラフや資料を通し、わかりやすく話された姿に多くの方が感動した。



腐らない食品の危険性を話す大塚先生



熱心に聞き入る会場の皆さん

## <アンケートより>

---

- ・こんなに食が、あらゆる犯罪に関係しているのか知らなかった。孫の食生活が心配。早速娘に話したい。
  - ・しつけが大切だと思っていたが、食事が原因とは思っていなかった。
  - ・食の大切さ、体の中に入る物の大切さについて、改めて考えた。
  - ・以前から米飯給食の大切さを感じていました。しかし現在の職場ではなかなか理解が得られないのが現状。今までは、あきらめの境地でしたが、あきらめずに訴え、行動し続けていくことが大事と感じた。
  - ・心と体の異常の原因が食べ物だとよくわかった。
  - ・学校関係者、栄養士、子育て中の若い夫婦、県知事、市長、国会議員にも聞いて欲しい。
  - ・ぜひ、静岡の学校でも給食を変えてほしい。
- 

満足度70%以上が36人。意識の高い人の参加があり、高い満足度が得られた、有意義な会となった。

当日、舞台上に並べられた花を見て、「花に癒された」「花を見て心がいやされると、悪いことができないやさしい心になると思う」「美しいものに日常接することは、人の心を穏やかにするので、花という身近なものを利用することは素晴らしいと感じた」というアンケートの回答があった。

今回は食の改善の内容が主であったため、次回は花について聞きたいという希望があり、実現させたいと願っている。

多くの参加者が「より多くの人々に聞いてもらいたかった」「静岡の給食行政の方、教育関係者など、直接給食に関わっている方々に聞いて欲しかった」という声が多かったので、アンケートをまとめ、多くの方々に伝える営みを継続したい。

その後、10月27日のあざれあメッセでも、食と花の親子のセミナーを開催した。多くの家庭で、心身ともに健康な食生活、花のある暮らしを実践してほしい。

家族がお互いに思いやりの心を持ち、協力し合う姿が見られる、男女共同参画社会の実現に向かっての人、家、まちづくりへと貢献していきたいと願っている。



花いっぱいのステージ